

1. 基本情報						
事務事業番号	02461	事務事業名	横川運動公園管理運営事業	担当部		
政策名	004	はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)			担当課	地域振興課
施策名	004	スポーツを楽しむ環境づくりの推進			グループ	地域振興・教育グループ
基本事業名	003	スポーツ施設の整備			内線番号	6306
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	単年度のみ
	款	10	教育費			単年度繰返(開始年度 ~)
	項	07	保健体育費			期間限定複数年度(令和2年度 ~ 令和6年度)
	目	03	社会体育施設費			根拠法令・条例等
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>						
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)						
【施設の概要】所在地：霧島市横川町上ノ3392番地3、施設(開設年)：横川温水プール(平成3年)、横川体育館(平成4年)、横川運動場(平成6年)、横川庭球場(平成6年)、横川ジョギングコース(平成6年)、開館時間：8:30~22:00(ただし、プールは10:00~21:00)						
【指定管理者】(株)エルグ・テクノ、指定期間：令和2年度~令和6年度 *横川運動公園管理運営事業の指定管理者制度導入は平成18年9月に開始され、令和2年4月から4期目に入っている。						
【主な利用料金】横川温水プール(330円/回)、横川体育館(960円/時間)、横川運動場(360円/時間)、横川庭球場(300円/面)						

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 指定施設数	施設	5	5	5	5
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	2	7	2	7
ウ 指定管理者による自主事業実施数利用者確保のためのPR回数	回	12	12	12	12

(2) 事務事業の目的						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記対象の大きさを表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(見込)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
ア 市民	人口	人	124,882	123,908	123,066	123,639
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記意図の達成度を表す指標)	単位	令和2年度(実績)	令和3年度(目標)	令和4年度(目標)	令和5年度(目標)
ア 市民のスポーツ施設への関心が高まる	利用者アンケート「総合的な施設の印象」の「期待した以上に良かった・期待どおりだった」の割合	%	87	70	79	70
イ 市民の健康及びスポーツ技術が向上する	年間利用者数	人	34,191	68,000	34,367	68,000
ウ						

(3) 総合計画との関係						
基本事業の目的、取組方針(総合計画より)						
地区自治公民館や自治会が行う施設整備や備品購入への支援を通して、地域におけるスポーツの振興を図ります。 また、市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の充実を図るため、老朽化した施設や設備の整備、バリアフリー化を年次的・計画的に行うとともに、適正な維持管理に努めます。 さらに、「かごしま国体・かごしま大会」の開催に向け、選手や来場者が快適に利用できる施設整備に努めます。						

3. 前年度の評価表に記載した課題	
令和3年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)	
施設の全体的な老朽化により、あらゆるところに不具合が生じていること、利用者は不便を強いられている。安全な施設利用のために優先順位を定め、予算の範囲内で改修に取り組む。温水プールについては、改修に向けて準備すると共に、修繕を継続し、施設管理運営の安定化を図る。運動場については、地質調査が完了。今後の運用について検討する。	

4. 事業費の推移		単位	2年度決算	3年度当初予算	3年度決算	4年度当初予算	5年度計画
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	29,613	27,792	32,204	27,792
		事業費	千円	29,613	27,792	32,204	27,792

5. 令和3年度の実績及び成果	
(1) 令和3年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 令和3年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 ・指定管理料実績 32,203,635円(当初27,791,500円) 【市の活動実績】 ・横川温水プール関係修繕(4件) 661,727円 ・横川体育館関係修繕(2件) 330,000円 ・テニスコート照明撤去 429,000円 合計 1,420,727円 ・指定管理者との定期的な打合せ(月1回)12回	・利用者アンケートでは、施設運営の満足度において各調査項目で「満足・やや満足」の割合が約90%という結果を得られた。 ・横川温水プール漏水等の修繕を実施し、市として施設の管理運営を良好な状態で維持し、利用者の利便性・安全性の向上を図った。 ・横川体育館非常用自家発電修繕及び消防設備点検による不備箇所の修繕を実施し、災害時における安全性の向上を図った。

事務事業 番号	02461	事務 事業名	横川運動公園管理運営事業	担当部	
				担当課	地域振興課

6. 振り返り <SEE (check) >

A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	

総合評価判定基準	総合評価	理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討	A	施設の老朽化により維持費がかかっているが、特にプールは地域の方々の利用が多く、継続的な取り組みが必要である。運動場の調査結果も踏まえ、全体的な管理運営を考えていく必要がある。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)

		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持			レ	
		縮小				
		休廃止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和4年度の改革改善の内容（取り組むべき課題）	施設の全体的な老朽化により、あらゆるところに不具合が生じていることで、利用者は不便を強いられている。安全な施設利用のために優先順位を定め、予算の範囲内で改修に取り組む。温水プールについては、改修に向けて準備すると共に、修繕を継続し、施設管理運営の安定化を図る。運動場については、地質調査が完了しており、今後の運用について検討する。体育館については、屋根・外壁等の防水改修工事を実施し、安全な施設利用を図る。					
(3) 令和5年度の方向性（具体的な取組）	公園内設備の不具合等修繕を行なっていく。プールの改修と運動場の今後の運用について検討していく。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)

						評価者	職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充						
		維持						
		縮小						
		休廃止（統合含む）						
			皆減	縮小	維持	拡大		
		コスト投入（予算）の方向性						
(2) 総評								

